

平成29年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月12日

上場会社名 株式会社ファステップス 上場取引所 東
 コード番号 2338 URL http://www.fasteps.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)高橋 秀行
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)村山 雅経 (TEL)03(5360)8998
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第3四半期の連結業績(平成28年3月1日~平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第3四半期	4,115	△41.9	△195	-	△182	-	△143	-
28年2月期第3四半期	7,086	22.8	231	300.2	246	-	53	-

(注) 包括利益 29年2月期第3四半期 △159百万円 (-%) 28年2月期第3四半期 153百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第3四半期	△41.16	-
28年2月期第3四半期	16.07	16.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第3四半期	4,215	1,613	22.8
28年2月期	4,842	1,360	14.4

(参考) 自己資本 29年2月期第3四半期 960百万円 28年2月期 695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00
29年2月期	-	0.00	-	-	-
29年2月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日~平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	△35.6	△100	-	△100	-	△65	-	△19.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社(社名) 、除外 社(社名)
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年2月期3Q	4,776,987株	28年2月期	3,343,500株
29年2月期3Q	38,400株	28年2月期	38,400株
29年2月期3Q	3,481,349株	28年2月期3Q	3,305,100株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部の企業業績や雇用情勢の改善が見られましたが、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動による影響が懸念されており、我が国の景気を下押しするリスクは依然として含まれております。

このような状況のもと、当社グループは新株予約権、新株予約権付社債の発行及びその行使を受け、調達した資金を活用し、財務基盤の安定化とグループ事業のグローバル展開を通じ、事業基盤の更なる強化を図ってまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間につきましては、売上高4,115百万円（前年同期比41.9%減）、営業損失195百万円（前年同期は営業利益231百万円）となりました。経常損失は182百万円（前年同期は経常利益246百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は143百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益53百万円）となりました。

セグメント別の売上高は、以下のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。）

なお、前連結会計年度末において株式会社ライフプランニングの株式を譲渡し、それに伴い株式会社NSFが当社の子会社ではなくなったため、第1四半期連結会計期間からシェイプファンデ事業を廃止しております。

また、アイラッシュケア事業につきましては、前第3四半期連結会計期間に新設されたため、前年同期比較は記載しておりません。

（システムソリューション事業）

当事業におきまして、スマートフォン向けアプリケーションにおいては、タイトル数を着実に増やし、ユーザーの獲得に努めております。システム開発受託案件においては、開発リソースの確保・拡大に取り組み、利益率の高い案件の受注拡大に注力して参りましたが、既存顧客からの受注数減少、少額案件の集中により減収となりました。その結果、売上高は232百万円（前年同期比5.2%減）、売上構成比は5.6%となりました。セグメント利益（営業利益）は56百万円となり、前年同四半期と比べ17百万円（前年同期比46.5%増）の増益となりました。

（メディアソリューション事業）

当事業におきましては、当事業のコンセプトでもある「戦略的クリエイティブ」を核に、積極的な営業活動に励み、受注数を増やすよう努めました。しかしながら、同業他社との価格競争の影響を受け、減収減益となりました。その結果、売上高は3,153百万円（前年同期比49.1%減）、売上構成比は75.7%となりました。セグメント損失（営業損失）は96百万円となり、前年同四半期と比べ390百万円（前年同期はセグメント利益293百万円）の減益となりました。

（コストマネジメント事業）

当事業におきましては、事業内での目標であるハイクオリティ・ローコストというスローガン掲げ顧客に対し多様なサービスの提供を行った結果、売上増加に繋がり、更に減価償却費等の一般管理費の減少により損失額の縮小に繋がりました。その結果、売上高は220百万円（前年同期比3.2%増）、売上構成比は5.3%となりました。セグメント損失（営業損失）は20百万円（前年同期比4.7%減）の減益となりました。

（アイラッシュケア事業）

当事業におきましては、instagramやblogをはじめとする、SNSでの情報提供に力を注ぎ、新規顧客の集客や既存顧客の維持に努めました。売上高は557百万円、売上構成比は13.4%となりました。セグメント損失（営業損失）は10百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて556百万円減少し、2,841百万円となりました。これは、主に現金及び預金が237百万円、受取手形及び売掛金が387百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ70百万円減少し1,373百万円となりました。これは、主にのれんが71百万

円減少したことなどによります。

総資産は、前連結会計年度末に比べて627百万円減少し、4,215百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて809百万円減少し、1,634百万円となりました。これは、主に買掛金が748百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて71百万円減少し、967百万円となりました。これは、主に長期借入金が81百万円減少したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて252百万円増加し、1,613百万円となりました。これは、新株予約権(転換社債型新株予約権付社債等)の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ202百万円増加したこと、及び親会社株主に帰属する四半期純損失を143百万円計上したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年10月7日に公表いたしました「平成29年2月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ」のとおりです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,178,353	1,940,988
受取手形及び売掛金	780,546	393,067
商品及び製品	110,376	104,305
仕掛品	19,384	4,616
繰延税金資産	7,090	25,622
その他	317,046	400,393
貸倒引当金	△14,427	△27,616
流動資産合計	3,398,370	2,841,376
固定資産		
有形固定資産	38,025	38,059
無形固定資産		
のれん	851,644	779,655
その他	62,276	70,346
無形固定資産合計	913,920	850,001
投資その他の資産		
投資有価証券	118,457	114,691
長期貸付金	471,339	447,611
破産更生債権等	166,258	166,258
その他	187,504	185,197
貸倒引当金	△451,526	△428,046
投資その他の資産合計	492,033	485,712
固定資産合計	1,443,979	1,373,773
資産合計	4,842,349	4,215,149
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,020,206	271,330
短期借入金	804,000	854,139
1年内返済予定の長期借入金	239,292	231,822
未払法人税等	61,611	2,427
その他	318,539	274,828
流動負債合計	2,443,649	1,634,548
固定負債		
長期借入金	271,547	189,902
長期未払金	403,744	400,000
役員退職慰労引当金	339,659	349,928
退職給付に係る負債	14,864	15,964
その他	8,764	11,704
固定負債合計	1,038,580	967,498
負債合計	3,482,229	2,602,047

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,071,390	1,274,295
資本剰余金	663,414	866,320
利益剰余金	△982,227	△1,125,527
自己株式	△58,994	△58,994
株主資本合計	693,582	956,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,279	7,187
為替換算調整勘定	△51	△2,823
その他の包括利益累計額合計	2,227	4,364
新株予約権	6,305	13,126
非支配株主持分	658,005	639,518
純資産合計	1,360,120	1,613,102
負債純資産合計	4,842,349	4,215,149

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
売上高	7,086,350	4,115,414
売上原価	6,015,326	3,411,688
売上総利益	1,071,024	703,726
販売費及び一般管理費	839,215	899,191
営業利益又は営業損失(△)	231,809	△195,465
営業外収益		
受取利息	4,562	5,560
受取配当金	2,110	1,555
不動産賃貸料	24,870	24,305
保険解約返戻金	413	9,961
その他	4,244	4,269
営業外収益合計	36,201	45,652
営業外費用		
支払利息	7,066	4,151
賃貸費用	14,043	13,860
為替差損	-	13,418
その他	268	1,152
営業外費用合計	21,379	32,583
経常利益又は経常損失(△)	246,631	△182,396
特別利益		
固定資産売却益	-	236
負ののれん発生益	7,386	-
特別利益合計	7,386	236
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	254,017	△182,160
法人税、住民税及び事業税	115,775	2,476
法人税等調整額	△8,527	△19,323
法人税等合計	107,248	△16,847
四半期純利益又は四半期純損失(△)	146,769	△165,313
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支 配株主に帰属する四半期純損失(△)	93,666	△22,013
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	53,103	△143,300

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	146,769	△165,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,365	8,435
為替換算調整勘定	-	△2,771
その他の包括利益合計	6,365	5,663
四半期包括利益	153,135	△159,650
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,187	△141,163
非支配株主に係る四半期包括利益	96,947	△18,486

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成28年10月11日開催の当社取締役会において、第三者割当による第6回新株予約権及び第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行を決議し、平成28年10月28日に当該新株予約権(転換社債型新株予約権付社債)が行使されております。これにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ200,000千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	システムソ リューション 事業	メディアソ リューション 事業	コストマネ ジメント 事業	シェイプフ ァンデ事業	アイラッ シュケア 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	227,240	6,190,640	211,033	430,661	—	7,059,576	26,774	7,086,350	—	7,086,350
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,062	—	2,896	219	—	21,178	—	21,178	△21,178	—
計	245,302	6,190,640	213,930	430,881	—	7,080,755	26,774	7,107,529	△21,178	7,086,350
セグメント利益又は 損失(△)	38,471	293,253	△19,227	24,972	—	337,469	△5,692	331,777	△99,967	231,809

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△99,967千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					計	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	システムソ リューション 事業	メディアソ リューション 事業	コストマネ ジメント 事業	アイラッ シュケア 事業	計					
売上高										
外部顧客への売上高	196,191	3,153,012	208,594	557,616	4,115,414	—	4,115,414	—	—	4,115,414
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	36,368	—	12,094	—	48,462	—	48,462	△48,462	—	—
計	232,560	3,153,012	220,688	557,616	4,163,877	—	4,163,877	△48,462	—	4,115,414
セグメント利益 又は損失(△)	56,347	△96,822	△20,133	△10,267	△70,876	△493	△71,370	△124,095	△124,095	△195,465

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△124,095千円は、セグメント間取引消去△48,462千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△75,632千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度末において株式会社ライフプランニングの株式を譲渡し、それに伴い株式会社NSFが当社の子会社ではなくなったため、第1四半期連結会計期間から「シェイプファンデ事業」を廃止しております。

また、前第3四半期連結会計期間より、エムアンドケイ株式会社及びPlurecil Holdings Limitedが連結子会社となったことにより、「アイラッシュケア事業」を新設しております。